仲間のうた

作曲 荒木 栄

小春そあ重 さをののた い待ど炭い 草つこ坑 雪 単たちが 草備をして がで どこれで でとこ を真っ白 -たちがいる こかで この街にも かぶった 3

-春そああ 人をののら 呼ど炭し 人ぶこ坑吹 の準かにい 仲備でもて 間を がしどこう いてこのち るいか街た よるでにた もい た

仲花そあ泥 た間咲ののの ごのかど炭靴 えうすこ坑が がたかに踏 ご準でもみ するよ 備 に をどこじ しこのっ てか街て いでにい もっ た

作作

重た い雪を

真っ あ の炭坑 にかぶっ た

(やま) にも

8 のどこかで 街にも

どこかで

春を待つ

草たちが 備を さ 草 たい るよ た ち が が る

2.

うちたたいていあらし吹いて

7

た

あの炭坑にも

この街にも

春を呼ぶかで

どこかで

春 進 備 を る

仲間がいるよー人一人の

仲間のうた

一 荒木 栄一 荒木 栄

作作

準花そこあ踏泥 どこかで った